

進路だより10月号

福島県立猪苗代高等学校

2014 (H26)・10・1

～中間テスト、迫る～

2学期が始まって1ヶ月が経ちましたが、みなさんはどのように過ごしているでしょうか。遠足や修学旅行の余韻にまだ浸っている人はいませんか。今月の6日からは2学期の中間テストが始まります。範囲も広がって難易度が増しますが、自分の進路実現のために、1点でも多く取っておきたいものです。

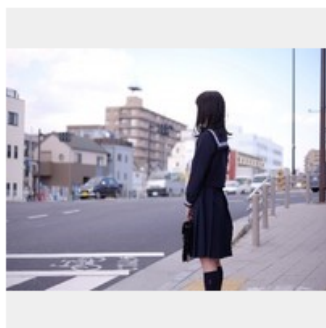


さて、3年生は就職・進学試験が本格的にスタートしました。進路実現のためには、学外の学生との真剣勝負に勝たなければなりません。合格はまったく確約されていないからです。既に、1回目の就職・進学試験で大変悔しい思いをした人もいます。その人たちは次のチャンスを実確にものにするために、また準備を始めましょう。一方で、大変な試験戦線を突破して合格した人は、次の自己の目標に向かって邁進しましょう。合格したからといって浮かれてはいられません。これからは、高校まででまったく学んでこなかった分野が、仕事や勉強の場面で数多く出てきます。それらに対応できるよう、今のうちからしっかりと準備しておきましょう。1・2年生も3年生の様子は他人事ではありません。1年後・2年後の自分たちの姿だと思って、まずは目前に迫った中間テストの準備をしっかりとっておきましょう。

【進路関連ニュース】

高卒求人増加 好景気を機に久々の売り手市場

エコミックニュース 9月25日(木)12時49分配信



高校生の就職活動解禁日である9月16日を迎え、来春卒業予定の高校生の企業選考などがスタートした。職場見学などは7、8月頃から、応募は9月5日から行われているが、実質的な面接などは、公平性を保つことや学業の優先を考え9月16日からのスタートとなっている。

高卒者の2013年度就職率は96.6%で、バブル期以来の高水準となっている。同年の大卒者の就職率は94.4%で、10年度から4年連続で高卒者が大卒者を上回っている。これもここ十数年なかった状況だ。リーマンショックがあり、09年度は急落しているものの、そこから順調に回復し、毎年1月時点での内定率も同様に上昇している。

☆公務員特集☆

過去、この進路だよりで就職や進学についての特集を組んできましたが、今回は「公務員」を特集してみたいと思います。就職や進学とは一味違う進路活動がそこにはあります。

1. 公務員とは？

公務員とは、「国および地方自治体、国際機関等の事務を執行する人。または、その身分、資格のこと。」と定義されます。簡単に言えば、国や都道府県、市区町村などに所属して、仕事をする人たちのことです。

2. 国家公務員と地方公務員

公務員は国家公務員と地方公務員に大きく分けられます。国家公務員は、国家レベルで職務を遂行する公務員で、国に採用されて、国から給料をもらいます。地方公務員は、地方公共団体に採用されて、そこから給料をもらいます。

3. 事務職と技術資格職

機械・建築・土木・看護師・保健師など、専門分野で仕事をするには知識や資格が必要になります。そのため、採用試験は、試験区分を事務系職種と技術資格系職種に分けて行われています。

4. 公務員の種類

一口に公務員と言っても、様々な職種があり、また、難易度にも大きな差があります。

○国家公務員（高卒程度）

- ・一般職 事務、技術系 他
- ・専門職 刑務官、税務職員、航空保安大学校学生、入国警備官、皇室護衛官、海上保安大学校学生（特別）、海上保安大学校学生、気象大学校学生
- ・特別職 裁判所職員一般職、衆議院事務局職員一般職、衆議院事務局職員衛視、参議院事務局職員一般職、参議院事務局職員衛視

○地方公務員

- ・都道府県職員 一般事務、警察事務、学校事務、警察官、交通巡視員、技術系 他
- ・市区町村職員 一般事務、消防官、保育士、看護師・保健師、栄養士、司書、技術系 他

5. 公務員の魅力とは？

①一生続けられるやりがい

民間企業は会社の業績向上・利潤追求を目指しますが、公務員は社会全体の奉仕者として、地域住民や国民のために良心的な立場から貢献することができます。

②約束された生涯賃金

公務員の給料は民間に合わせて調整されています。ただ、民間のように大幅な賃金カットはなかなか起こりません。また、定年後の退職金等も民間より優遇されている部分があ

るので、確実な生涯設計が期待できます。

③休暇もいろいろ

公務員では完全週休二日制がほぼ100%実施されていて、民間よりもその割合はかなり高くなっています。年次有給休暇も、勤続年数にかかわらず年間20日間与えられます。また、「病気休暇」「介護休暇」「ボランティア休暇」「結婚休暇」等様々な休暇もあり、自治体によっては予防接種や運転免許証の更新、授業参観などの休暇も認めています。

④仕事に打ち込める「安定」

公務員＝安定という図式が一般的に定着していますが、官公庁は景気に左右されることなく、身分や待遇が法律で保障されているという点で安定してると言えるでしょう。

⑤女性に有利な職場

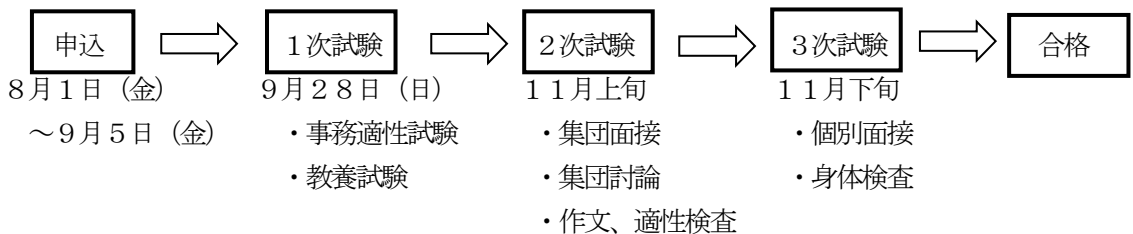
公務員はあらゆる面で男女平等です。本人の実力次第で管理職の道も開かれています。また、民間においては結婚退職というところも多く、「産休・育休」が有名無実化しているところもあります。一方、公務員では育休利用者が対象女性の96.5%、そのうち96.3%が復職を果たしていて、安心して結婚・出産ができます。

⑥公務員の資格取得

一部の公務員はある一定の条件を満たすと、国家資格を取得できたり、試験科目の一部が免除されたりします。（例・司法書士、税理士、中小企業診断士 など）

6. 受験の流れ

それでは受験の流れを今年の会津若松市の事務職を例にとって見てみましょう。なお、今年の高卒・短大卒の枠で、2名程度の採用予定になっています。



このスケジュールを見てもよく分かる通り、公務員試験合格はとても厳しいものです。生半可な学習ではとても太刀打ちできません。倍率も一般職を見ると、5倍～25倍と狭き門になっています。なお、高校では公務員は一般企業との併願ができません。公務員の可否結果が分からなければ次に進めないのです。

7. 出題内容

①教養試験

一般知識（政治・経済・社会・世界史・日本史・地理・文学・芸術・国語・英語・数学・物理・化学・生物・地学）と一般知能（文章理解・数的推理・判断推理・空間把握・資料解釈）から成る出題範囲の非常に広い分野です。ほとんどの試験で配点が均等になっていて、全て勉強しなければなりません。6～7割が最低合格ライン。

②適性試験

文書の記録、集計、照合、分類等の能力を測るための試験。計算、照合、置換、分類、図形把握、それらの複合問題から成る。「得点＝正答数－誤答数」で計算されるのも大きな特徴。基準点が設定されていて、それに達しないと他の試験に関わらず不合格になることもあります。

③作文

基礎的国語力や論理的思考力、字の読みやすさなどを総合的に判断します。内容としては、1. 社会常識と客観的判断力を問う問題（あるニュースについてどう思うか など）、2. 表現力や描写力を問う問題（夢や友情、やさしさなど抽象的なものについて問う）、3. 職業に関して個人の抱負を問う問題（志望動機や将来の抱負 など）、の3つに大別できます。指定字数の8割書けないと確実に減点されます。

④面接

筆記だけでは見られない、受験者の人間性や考え方、礼儀作法、態度、話し方等を確認します。形式としては個別面接、集団面接、集団討論があります。特に集団での面接や討論は練習する機会を意図的に作る必要があります。この面接で、ボーダーラインにいた受験者の上下が入れ替わることもあります。

【やってみよう 数的推理】

①景気に関するアンケート調査を行い、対象者全員に「良い」「あまり良くない」「悪い」の中からいずれか1つを選んで回答してもらった。結果を集計したところ、「良い」と回答した人が全体に占める割合は、「悪い」と回答した人の全体に占める割合より10%少なく、「あまり良くない」と回答した人は「良い」と回答した人の3倍であった。このとき、景気が「悪い」と回答した人の割合は、全体のどれだけか。

1 22% 2 24% 3 26% 4 28% 5 30%

②A、B 2つの容器にそれぞれ同量の水が入っている。今、Aの容器から60Lを取りだし、これをBの容器に移した。この後、Bの容器に入っている水の量の $\frac{2}{5}$ をAに戻したところ、A、Bの容器とも最初に入っていた水の量と同じになった。A、Bの容器に最初に入っていた水の量として、正しいのはどれか。

1 80L 2 90L 3 100L 4 110L 5 120L

解説

景気が「悪い」と回答した人の割合を $x\%$ とすると、景気が「良い」と回答した人の割合は $(x-10)\%$ 、「あまり良くない」と回答した人は $3(x-10)\%$ である。ここから、 $x+(x-10)+3(x-10)=100$ 、 $5x-40=100$ 、 $5x=140$ 、 $x=28$ より、景気が「悪い」と回答した人の割合は28%であり、正答は4である。

解説

最終的にはA、Bの容器に入っている水の量は最初と同じになったのだから、Bの容器からAの容器に戻した水の量は60Lである。この60Lが、Aの容器から水を移した後にBの容器に入っていた水の量の $\frac{2}{5}$ に当たるのだから、 $60 \div \frac{2}{5} = 150$ より、Bの容器には150Lの水が入っていたことになる。Aから60L移して150Lとなったのだから、Bの容器に最初に入っていた水の量(Aの容器も同様)は90L(=150-60)である。

したがって、正答は2である。